

北海道教育大学

令和5(2023)年度卒業・修了後の動向調査について(報告)

【調査概要】

調査名:北海道教育大学 令和5(2023)年度卒業・修了後の動向調査

対象者:平成30(2018)年度 卒業生・修了生

実施期間:令和5年12月18日～令和6年2月1日

回答者数／対象者数:539名／1,243名(43.4%)

調査方法:調査用紙による記述回答(郵送)

調査項目:

- 現在の職業、雇用形態 ○卒業・修了後5年間の進路状況
- 在学中に身に付いた能力のうち、就職後に役立ったもの
- 就職活動に役立った大学の支援 等

調査結果概要(一部抜粋):

I. 大学全体

教育学部

教員養成課程(札幌校・旭川校・釧路校)【回答者数:317名】

学科:国際地域学科(函館校)、芸術・スポーツ文化学科(岩見沢校)【回答者数:173名】

大学院教育学研究科

修士課程、専門職学位課程【回答者数:49名】

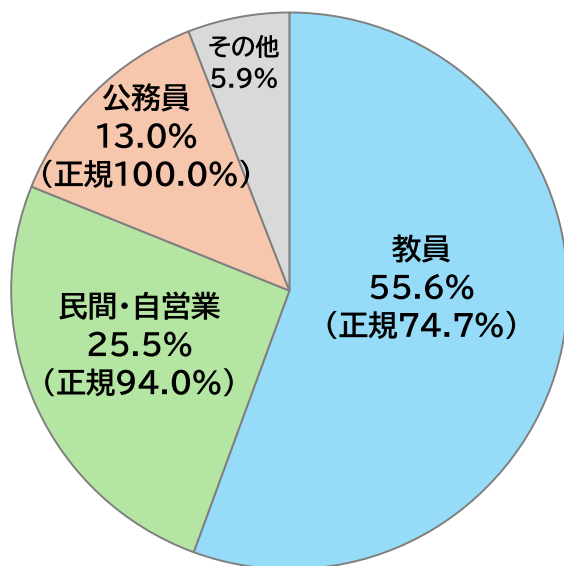
1. 就業状況(卒業・修了時→5年後調査時)

①教員: 55.6%→54.5%、正規割合 74.7%→92.9%(+18.2%)

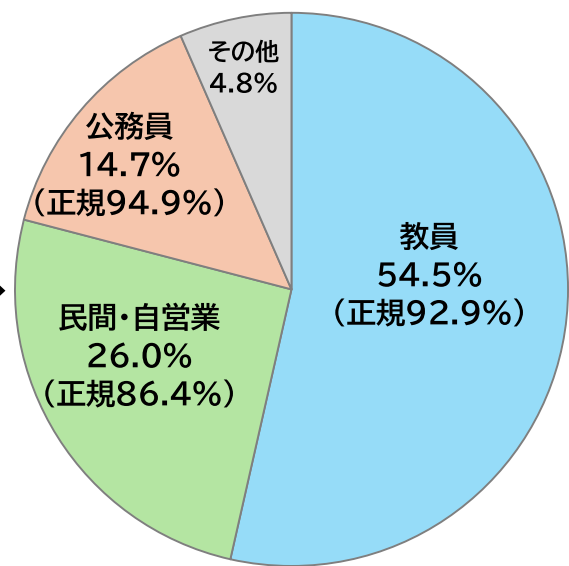
②公務員: 13.0%→14.7%、正規割合 100.0%→94.9%

③民間: 25.5%→26.0%、正規割合 94.0%→86.4%

【大学全体】卒業・修了時(2018年度)

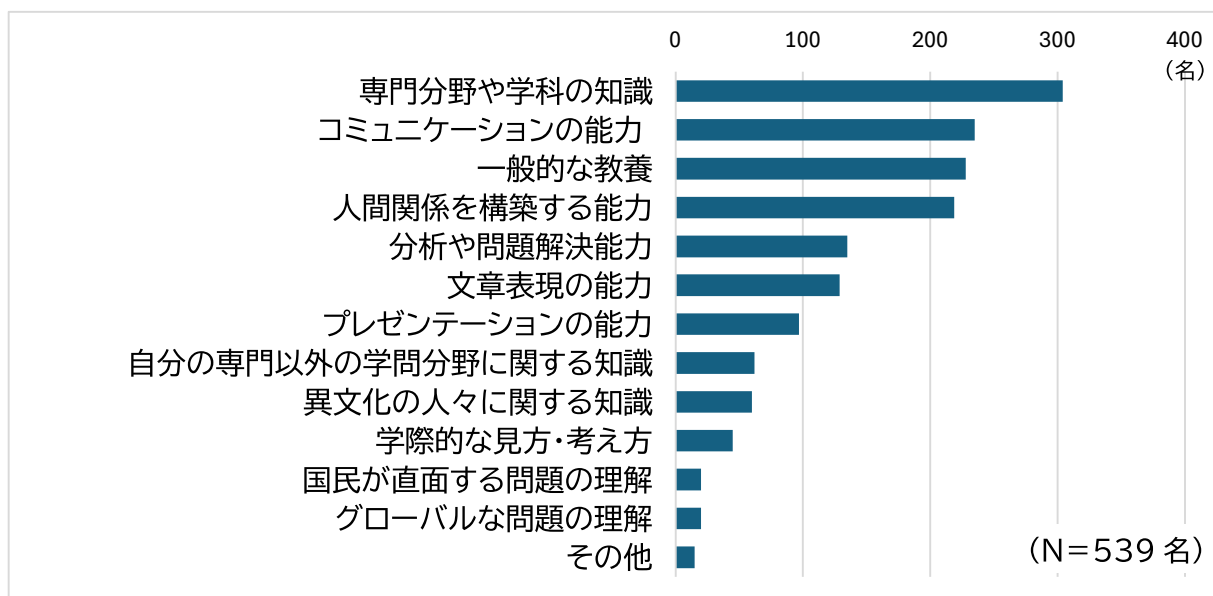


【大学全体】5年後調査時(2023年度)



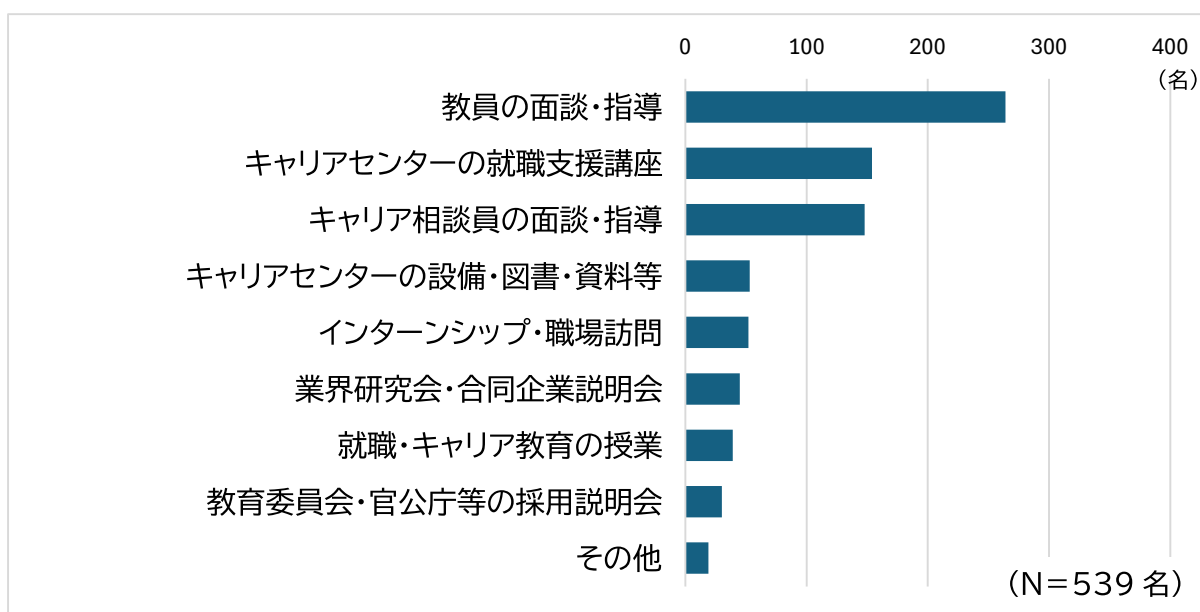
2. 在学中に身に付いた能力のうち、就職後に役立ったもの(複数回答可)

1位「専門分野や学科の知識」(56.4%)、2位「コミュニケーション能力」(43.6%)、3位「一般的な教養」(42.3%) 等



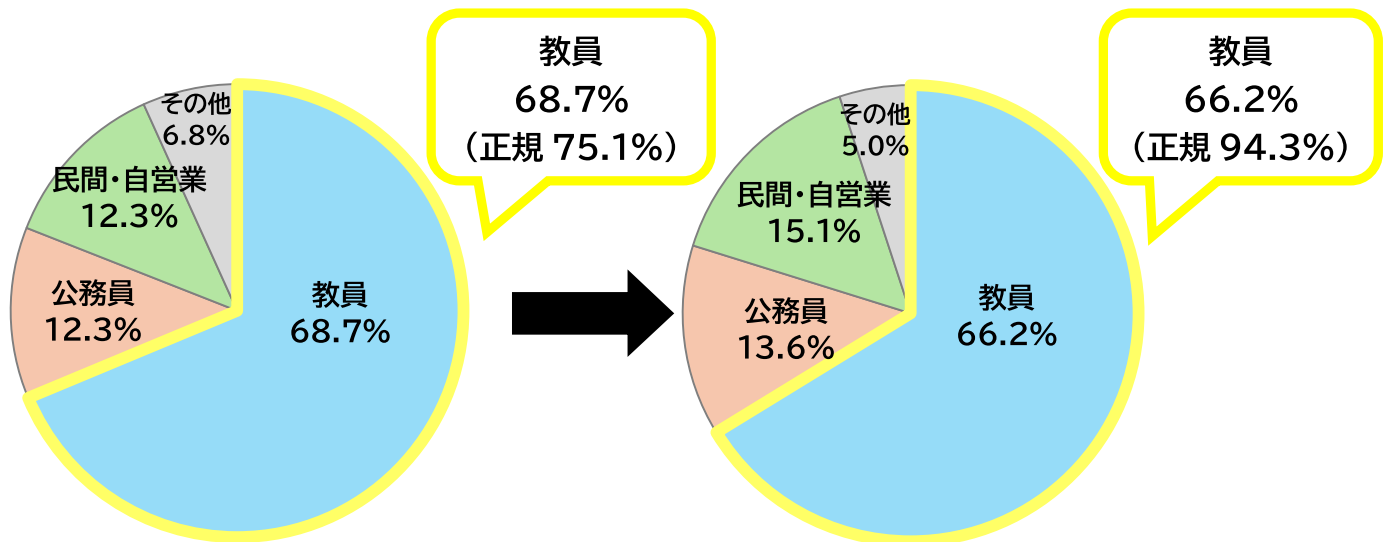
3. 就職活動に役立った大学の支援(複数回答可)

1位「教員の面談・指導」(49.0%)、2位「キャリアセンターの就職支援講座(教員・公務員・民間)」(28.6%)、3位「キャリア相談員の面接・指導」(27.5%) 等

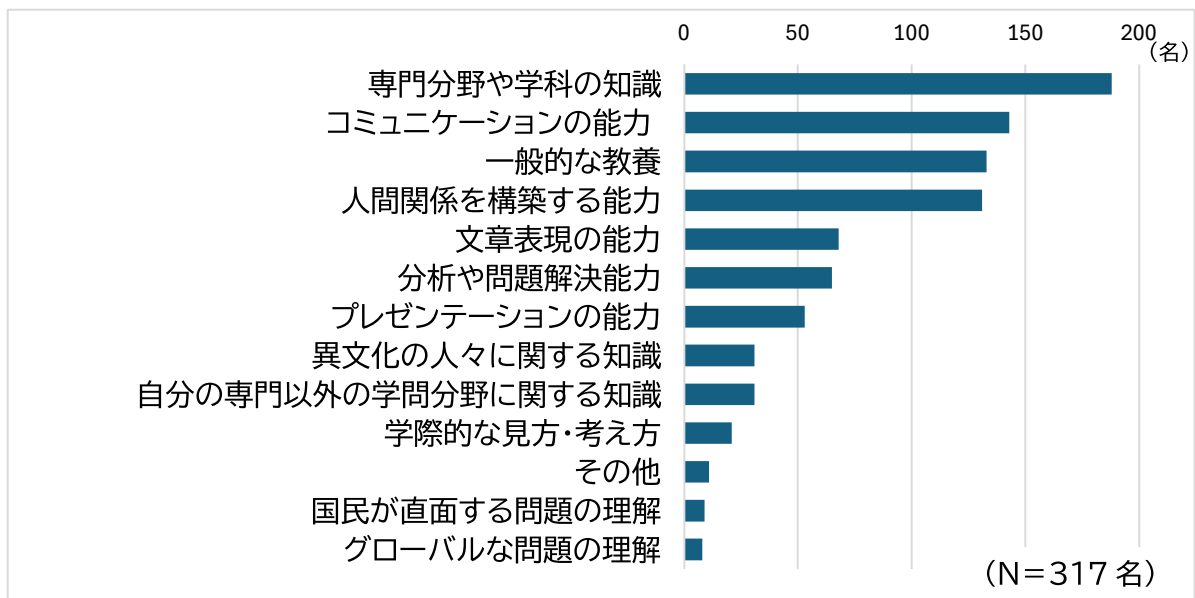


II. 教員養成課程(札幌校・旭川校・釧路校)

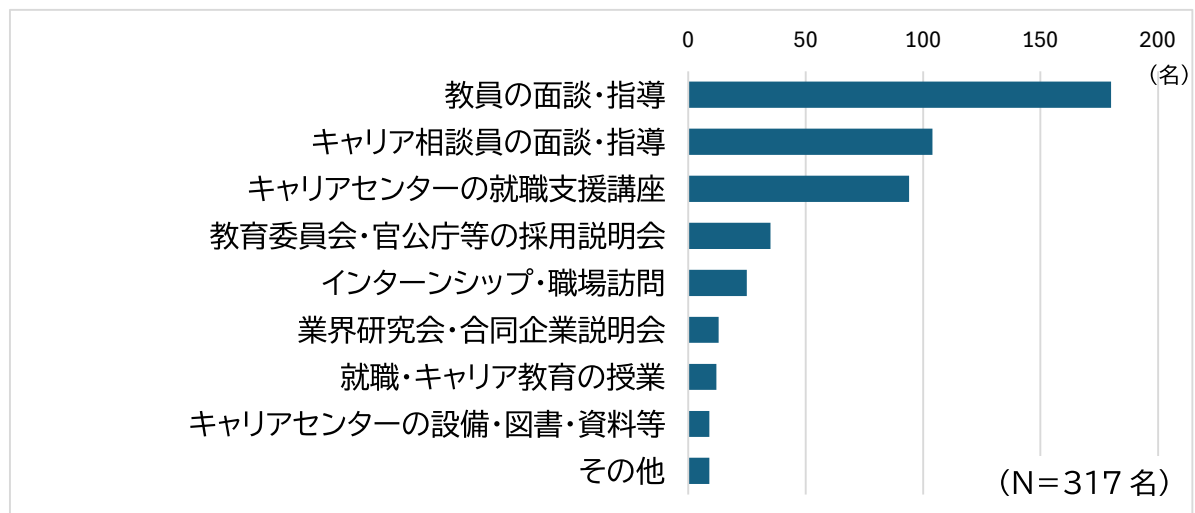
1. 就業状況(卒業・修了時→5年後調査時)



2. 在学中に身に付いた能力のうち、就職後に役立つもの(複数回答可)

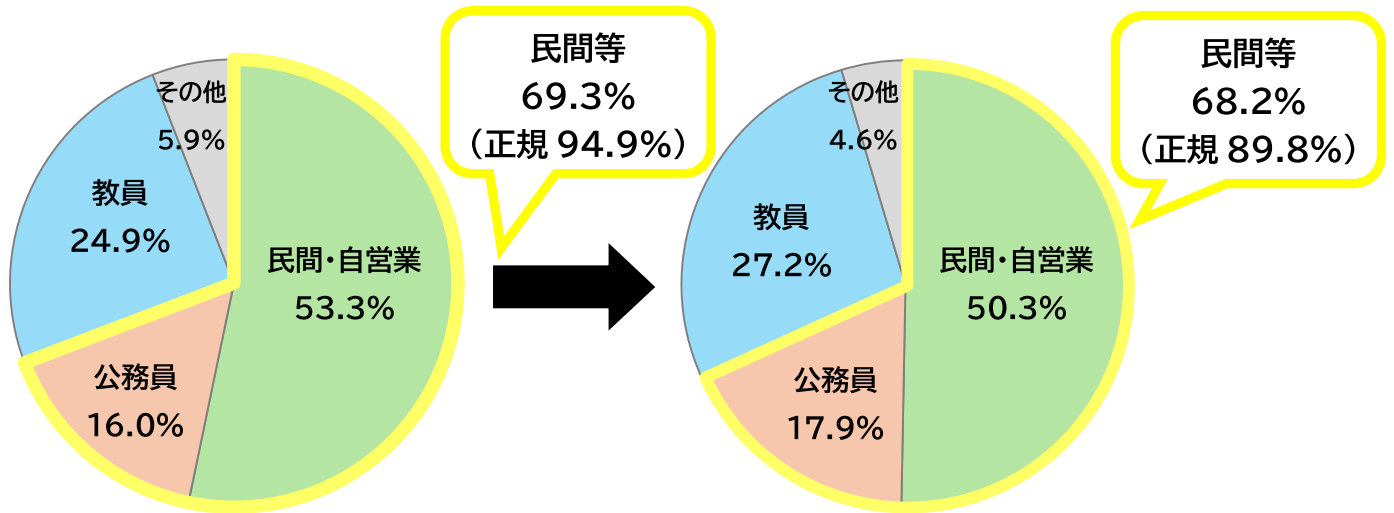


3. 就職活動に役立つ大学の支援(複数回答可)

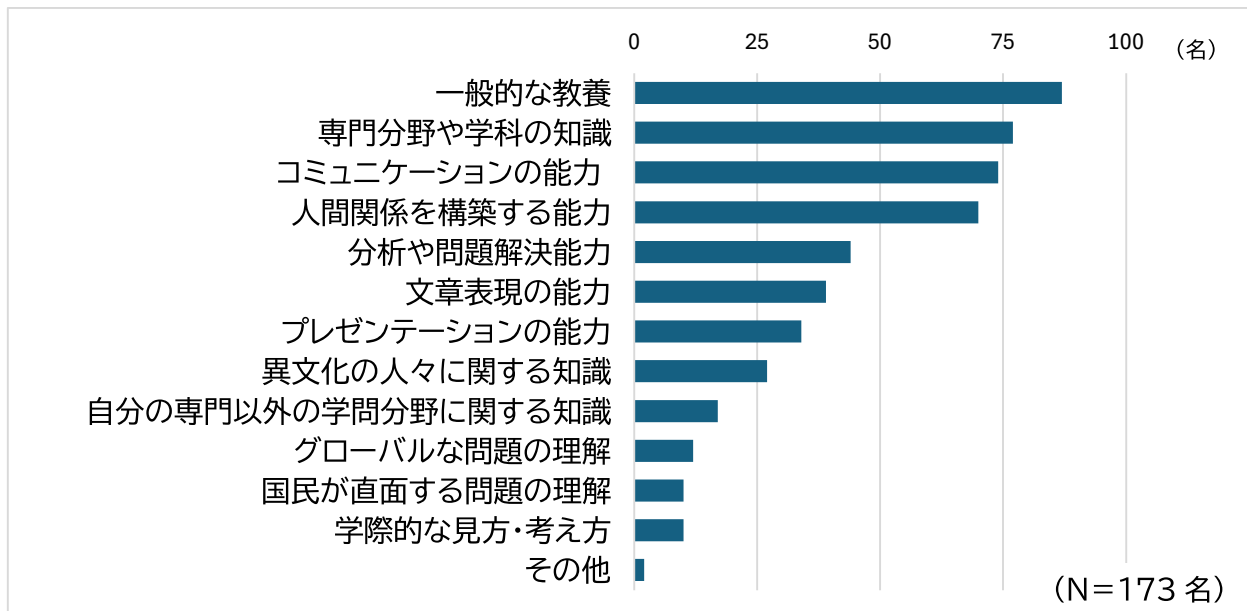


Ⅲ. 学科:国際地域学科(函館校)、芸術・スポーツ文化学科(岩見沢校)

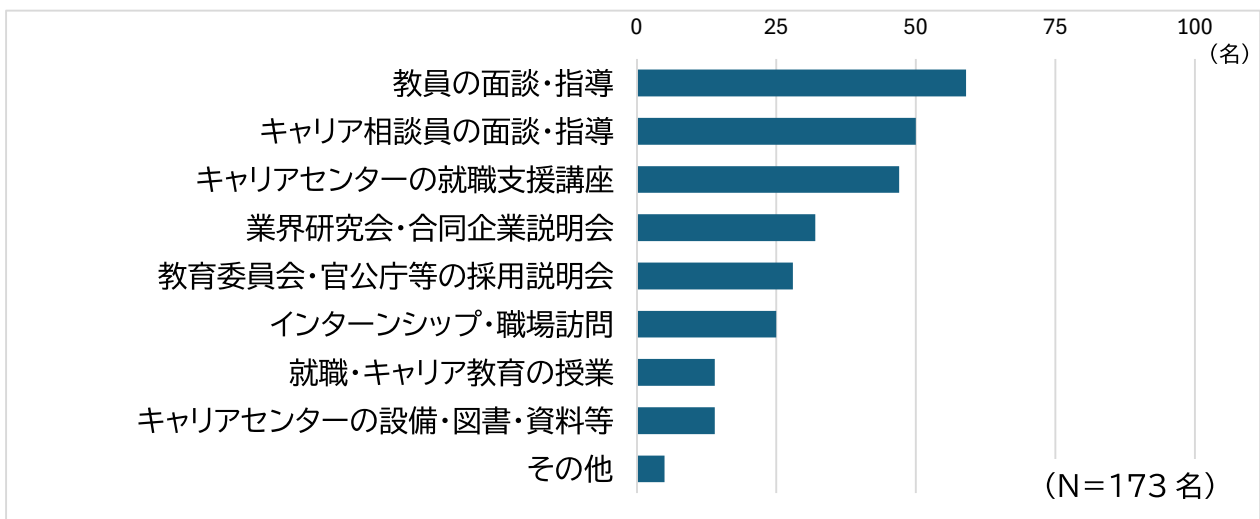
1. 就業状況(卒業・修了時→5年後調査時)



2. 在学中に身に付いた能力のうち、就職後に役立ったもの(複数回答可)



3. 就職活動に役立った大学の支援(複数回答可)



IV. 大学院教育学研究科(修士課程、専門職学位課程)

1. 就業状況(卒業・修了時→5年後調査時)

①教 員:80.4%→75.5%、正規割合 83.8%→97.3%

②公務員: 6.5%→10.2%、正規割合 100.0%→80.0%

③民 間:13.0%→10.2%、正規割合 66.7%→80.0%

2. 在学中に身に付いた能力のうち、就職後に役立ったもの(複数回答可) ※上位3つ

1位 「グローバルな問題の理解」

2位 「専門分野や学科の知識」

3位 「自分の専門以外の学問分野に関する知識」

3. 就職活動に役立った大学の支援(複数回答可) ※上位3つ(その他を除く)

1位 「教員の面談・指導」

2位 「キャリアセンターの就職支援講座」

3位 「就職・キャリア教育の授業」

(2024年9月 北海道教育大学キャリアセンター作成)